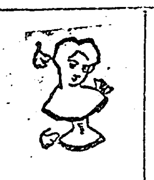
夕刊

六月十三日發行

東京振替一〇八〇五五六五番



身邊小錄

島田忠夫

（二）

○ひげ

個展制作の忙しさに追はれて、髮も伸び放題、ひげもすつかり伸びた。ひげ—尤も僕のひげは、相當なものであるらしい。

『ヤア、橋本八百二のやうだね』

と金澤重治畫伯が云つた。

『オイ、まるで乃木將軍ぢやアないか』

と松岡譲氏が云つた

『どうも、ひげの中から、顔が出てる感じだね』

と福田豐四郎君が云ふ。

『ヤア、島田君か。どうも驚いたもんだネエ』

と久米正雄氏が云ふ。これでも、僕の『ひげ』が相當なもんだといふ事が、お分かりだらうと思ふ。

□

ひげは、實は剃りたいと思ふ。然るに今度出來た『島田忠夫後援會』の面々が、どうしても僕のひげを剃らせない。理由は簡單だ。

『藝術家は、特徴があつた方が好いよ』

『ひげは、お剃りに、ならん方がいゝネ。剃つちやア君らしくないよ』

中には、ひげを剃れば、後援會のため、骨を折らんと、いふ人もある。島田忠夫後援會は、毎月百五十圓宛つ、家内に金を渡して呉れる。後援者には横田宮藏、磐石熊太郎、山越永之助、守居善輝、前田夕暮、齋藤順一、足立締、といふ面々が控へてゐる

□

ひげも、斯うなると、金錢の資となる。僕が頭山滿翁の若い頃のやうなひげを蓄やしゐる事によつて、後援者が大いに安心するると、之れも、甚だ笑へない現實ではないか。

現に僕の絵の後援者である、力士磐石關から、待されて今場所は、數回國技館に出かけた。その枡で、頭山滿翁と、僕、うしろになつて二三回相撲を觀てゐる。不思議な機縁である。

□

磐石關と、僕が親しくなつた理由は、別に書くこととする。そんな關係で、幕内の二瀨川、九ヶ錦、幕下の高津山、浪錦、岩の松などゝ今では隨分親しくしてゐる。

『先生、々々』

と云つて、場所中も支度部屋まで引つ張られて行く。双葉山關にも二三度支度部屋で話したり、大潮と禪問答をしたり、朝日山親方から酒を貰つたりした。

□

之れらは、みんな『ひげ』のお蔭だと云ふ人もゐる。双葉山も『お立派なひげですネ』と云つた。双葉關に『お立派な髑髏ですね』と云つても『フフン』と云ふだけだらう、双葉關から立派なひげと云はれた僕はドギマギして隨分困つた。

『さうでもないですよ』

とやうやく云ふと、磐石と大潮が

『先生、テレル顔でおないなア』

と笑つた。

初夏雜詠（一人二首）

（一）

○雀の子柿と柿との木渡りが出來て朝から嬉し鳴きせり　高野美佐惠

○蛙の聲耳にせんとて露ふめばおたまじやくしがかさこそ逃げる　同

○起出でて庭の樹下をあゆみ行く若葉の匂身にしみて來　谷田房子

○遠近の青葉若葉はおひ茂り葉の先見れば露玉持つ　同

○まだ露は土にしつとり青草の中にまじれる四つ葉を探す　林原千賀子

○境内の玉垣そばの大公孫樹若き葉伸びて朝日に映ゆる

6月14日

△武田晴信甲斐に自立す（天文一〇）△毛利元就歿す（元龜二）△天津英佛租界隔絶斷行、檢問開始（昭和一四）

○

自ら汚し、自ら傷つくる人に對してのみ、この世は汚れたるもの、傷れたるものなり

ホイットマン

講談 夜嵐お絹

[94] 悟道軒圓玉

筒井直衛畫

雁鍋の二階より

其内に廣小路は一面の猛火に包まれた、出入の者は吃驚して、

『大變だ〳〵、井口の旦那樣、お宅に火が附きましたよ、引返して消しませうか』

『馬鹿な事を云ふナ、國家に替らぬ人の意氣地だ一人も歸つては成らねえぞ玆で死ぬと覺悟して働け、』

『よし來た、ソレ彈丸をも浴べ』

『水を[illegible]』

と輜重輸卒が江戸っ子だて氣が利いてゐるから戰ふ人達も喜んだ

山王臺から射ち出す砲彈の爲に黑門口へ押し寄せた官軍は散々に射すくめられ乃へ彰義隊の內で最も勇敢なものが斬つて來たため官軍は益々みだれ立つ、ズルト官軍方の、藤堂の家來應取春朔と申す者は神田川の橋々を警戒して居つたが上野の戰ひを開始したと聞いて部下の兵士五六人を引きつれで視察に來た、黑門口に向つた官軍は三枚橋まで追ひ立てられて大分苦戰たし居ゝ、これを見て應取が

『是はいかんナ、流石の薩摩の兵士も追ひ立てられたナ、此の儘に置くと、敵はます〳〵氣勢を張り味方はいよ〳〵不利になる、是は今の內に策を用ひて盛返さねば大事を惹き起す』

と言つた、ドドーンバラ〳〵大砲の音が響き渡り彈丸は降るやうに飛んで來る、

『これは危い、ウム山王臺から射ち下してゐるナ、これには官軍も困るであらう黑門口を攻めるより此の山王臺の敵を追ひ拂はねば黑門を破る事はなるまい』

『ピューッ、ドドーン、』

『危い〳〵これは玆には居られぬぞ、マア兎も角も山王臺の敵を擊ねば勝利を得る事は成るまい』

乃で薩摩の隊長益滿休之助に會つて

『益滿殿、大分戰ひは大きく成つて來ましたナ』

『ウム應取か、敵は强いぞ彼等は勝敗をかへりみず無法に斷つて出る、偉い奴じや』

『ところで山王臺の敵を射たねば黑門を突破して山内に入る事はなりますまい』

『それは俺も知つてゐるが何分敵は頑强でいくら彈丸を浴びせても怯まぬぞ、それに味方が彈丸を送るにしても打上げるのだ、敵は擧下りに打ちおろし、それに照尺も正確であるから、一發も無駄彈はない、それ故味方は死傷者が續々增して來る』

『そこで拙者が計策を用ひて山王台の敵を打ち拂ふ事に致すでござらう』

『それは偉いな、貴公の手にて彼の敵を追ひ拂ふ事が出來るか』

『追ひ拂ふ事は成らず共力だけは弱めて見やる、二十人ばかり兵を添へて頂きたい』

『さようか、それでは』

と春朔に兵を添へた、應取はこれより上野下の料理店『雁鍋』へ出て見ると逃げた雁八はどうなるかと生きた心地はなくウロウロしてゐる、其處へ入つて來た應取春朔。

『大分騷はしいのう』

と云つたが是程騷々しいものはあるまい、其他に在るとすると近頃流行のヂャズとか云ふ洋樂です

雁鍋の女中は手を突いて

『入らしやいまし、今日は休んで居りますから又お近い內に』

『イヤ酒を飲みに來た譯ではない暫く二階を借りるぞ』

と云ひ捨てゝ足音高く二階へ上り山に面した座敷へ來たが、向ふにあつた簾を持つて來て下げその後部に兵士を二列に並べ、山王臺から黑門口へ攻め寄せる官軍へ彈丸を浴びせて居る者共を此の二階から狙撃した距離は近いからよく命中せる

『占めたナ、コレ、隊長らしい者を狙つて射て、』

兵士は面白がつて

『どんなものだ』

と狙ひ定めて射ち出す、大當よりは敗島一個、それは嗚たが山王臺、大砲の射ち方を指揮して居つた後藤鋳太郎に石神鐺之助も應取の部下の爲に戰死いたした續いて負傷者も多くそれを擔いで黑門口の番小屋へ運んで來て手當を加へたが、其內に此の番小屋も砲彈の爲に挫けて負傷者は一片の肉を止めて戰死した、

おでん
たつた揚
やきとり

一平

電話二六三番

貸家廣告

一、壹軒建拾壹間

一、八疊三間、六疊八間

病院又は旅館向外ニ三十坪位の庭園あり

御希望の方は田町石川亭に御來談下さい。

平市田町

石川亭

電話四三番

燈火管制用電氣カバー

此レダ〳〵

規定通り試驗濟の模範燈火管制ニハ是非御利用チ

六〇ワット以下ノ電球ニハ調節自由ニ減光出來マス

空襲管制ノ場合ニモ調節ニテ消燈同樣ニナリマス

長時間遮光スルモ器具ニハ燃燒ノ恐レアリマセン

防空用器具、投砂袋

折疊式竹網、管制カバー

平市南町三〇番地

製造元 福屋漆器店

工場南町四六番地

電話「呼」七三二番

振替口座東京八二、九九九番

吸入用酸素 純度99%

度量衡

モノサシ マス ハカリ

計量器

体温器 寒暖計

關内藥局

電話四〇番

女工募集

一、人員二十五名初給八十錢以上

年令十九才ヨリ三十五才迄（但素人ニテモ可）

御希望ノ方來談下さい。

平市月見町

合資會社 興亞特許商事

石川榮三郎

ラヂオシンター原液

本品ノ應用範圍ハ頗ル廣汎ニシテ靈妙ナル偉效ヲ有スルト共ニ複作用ハ絶無ナルハ他藥ノ追從ヲ許サズ特ニ病的細胞ヲ破壞、熱性疾患ニ對スル解熱作用ヲ爲ス故ニ肺結核、肺炎、喘息、蓄膿症、胃腸病、腎臟病、神經衰弱、熱性疾患、產前產後、動脈硬化症ニ奇效ヲ奏セルコトハ多年各種病者諸彥ニ御試用ヲ請ヒ奏效顯著ノ定評ヲ受ク

醫學博士萩原良一先生推奬

ラヂオシンター原液 六百瓦入 一週間分 金四圓

福島縣石城郡 草野村大字泉崎字中島四九

取次販賣所 鈴木賣藥部

振替口座東京四五七二七番

銃後の想像をよそに 泥を泳ぐ濃艶使節
林屋濱壽裙の前線通信

市內新田町の精粹をすぐつた本縣演藝慰問團！濃艶使節中、均齊のとれた魁偉な体格その他から時局下女性中ユニークな存在として認められてゐる野口ちよの裙。と云つては餘り通俗的ではないが林家濱壽君の第一線通信。而もこれには大陸の初夏を想はする鈴蘭の押し花がいみじくも封入されてあつた

亂筆にて御免下さい。暫らく御無沙汰致しまして誠に申譯御座いませんか。お陰様にて途中無事に牡丹江迄參りました。內地を離れて丁度十日になります、何だか一ヶ月位經つた樣に思ひます。でも牡丹江は迚も廣々として賑かです。荷物と一緒にトラックに積み込まれ、只今は掖河の軍人會館に宿を取つて居ります。

二十六日から慰問を始めまして稷稜の陸軍病院をやり、廿七日午前中M部隊。午後はK隊をやり直ぐ汽車で下城子迄參りました。その日夜八時三十分から進りましたので流石にこの日丈けは相當に疲れました。でも兵隊さんが迚も喜んで下さるので疲れも忘れます。當地は今雨季、內地の入梅時に入つたそうです。迚も暫く毎日雨ばかり降つて居るので道は泥々です。それでもトラックの無い時は皆歩るきます。

こちらへ參りまして初めて兵隊さんの有り難味が解りました。三十一日の日KS部隊で福壽軒の息子さんにお逢ひしましたが迚も元氣ですつてお宅へお傳へ下さいませ。

今の慰問員全部迚も元氣で居りますから御安心下さい。

では暇を見てまた其のうちお便り致します。皆様も御自愛下さいませ。

十八日から三日間 阿部五段出場の 天覽武道大會決る

本縣柔道代表として既報神谷村塩阿部文平五段、劍道補欠に中第三校大友能一錬士が出場する宮城內濟寧館の宮內省主催紀元二千六百年奉祝武道大會は十八、九兩日に亘る准決勝並に決勝戰の勝者が二十日天覽の光榮に浴することになつてゐる。因に本縣の劍道選手は縣警官練習所教官村越淳警部補である

市二毛作品評會入賞

市農會主催の二毛作品評會は此程開き農家組合單位に行つた豫選六十點中左記入賞を決定した

△一等大麥 大須賀雄一(中平)會川元次郎(下平)△二等小麥 木田源三郎 榮種福田藤一郎(中平)(下平)鈴木一久(中平)福田貞藏(同)吉田吉郎衛門(中監)立澤和發(中塩)△三等大麥 蒲葉藤千代(上平)林蓓(同)松崎忠良(中平)小野久四郎(下平)

(中塩)福田長一郎(中平)川角嘉衛門(同)鈴木定一(鎌田)高島鶴吉(同)吉村菊太郎(同)小麥還藤松之助(長橋)榮種鈴松明正(中平)大山新次郎(中塩)福田貞義(中平)甘藍福田藤一郎(同)

東北更新會指定分會

東北更新會縣支部第二期指定分會中地方關係は左の如く決定、十二日を開き銃後人的資源の强化に邁進することを申合せた

△母性兒童保健榮養改善清潔整頓事業——鹿島村分會

△トラホーム豫防榮養改善清潔整頓事業—江名町分會

△簡易産業奬勵榮養改善清潔整頓—久の濱分會

警防團後援會へ寄附

其後大口相次ぐ 市警防團後援會では既報自動車ポンプを警防團へ寄附するため引續き大谷會長らが陣頭にたつて寄附金募集に當つてゐるがその後の大口寄附左の如し

△百澤島興千圓△横山彰介久野ひさ各五百圓△菊地德太郎百圓

砂糖以外も同方針で
採算可能を限度に賣つて欲しい！ 市民大衆が商人に希望

既報、平市に於ける砂糖配給の切符制實施は遂に野崎蓮沼正副議長が出席した盛岡の樺太、北海道、東北六縣市會議長會議席上『砂糖配給の切符制を市長により實施方建議の件』の決議當時に於ける實施地の例を參酌した腹案標準『一ヶ月一人半斤』通り決定したもので當今の實情がその實施を促進したのは云ふ迄も無いが話題に上つて幾干も無く今日の結果を見て今後濫費に陷らぬ限りその供給を保障さるるに至つたのは地方民の大きな喜びであり、各家庭ともほつと一と安心の態である

斯くして日常必須の調味料たる砂糖は今後切符制の圓滿なる配給によつて幸に事を欠く樣な事がなくなつたが、之の方法によれば現に入手困難とされてゐる他物資中にも配給の圓滑を望み得るものがあるではないかとの斯かる場合に起り勝ちな想像が行はれ時局下に善處を忘らぬ商人側からは些か寥獨の念として不快がる場合があるにせよ、市民大衆としては各商人に對して更に一歩を進め算盤の採れる程度に買ひ溜め貪り惜しみの迷妄から脱却する樣、時節柄大切な經濟道德の實踐を望んで居る

お次ぎは木炭か
平署で切符制擴張を考慮

縣の意向に呼應して全管內に砂糖の切符制を實施し平署では各自の良心に俟ち今後の需給圓滑を期す一方この制度を更に木炭にも及ぼすべく考慮中の模樣である

最近に於ける木炭の需給は當局の監視乃至斡旋とが需要薄季に入つた關係から大体圓滑に運んでゐるとは云へ今後需要季の品不足に備へ今から圓滑配給の法を馴致せしむべく考慮されるに至つたものである

女番人縊死

好間村下好間字向山隔離病舍番人猪狩スイ(六六)は出戻娘(三八)が精神に異狀を呈しその行末を案じてゐたが遂に十二日午後四時頃病舍物置で縊死した

非常時局に對應し 町內會の緊密强化
市で先進地視察に派遣

循平町方部の町內會及び循平窪方部に於ける部落會は時局柄一層その連絡緊密化を要望されてゐる折柄昨十二日福島市役所樓上で開かれた縣下市町村町內會整備に關する協議會出席の長谷川市視學は會議終了後今十三日から五日間埼玉、栃木、群馬三縣下各市町村町內會の活動狀況を視察、採長補短に資することゝなつた

清純にして豐富 市上水道に折紙
當分斷じて事を欠かぬ

旱天續きの水不足は單り田植ゑを氣遣ふ農家ばかりで無く、豐富な上水道に惠まれ、曾て不自由な体驗を有たぬ平市民乍ら帝都近來の水飢饉に深い關心を喚られてゐる折柄とて當分この儘ならーーとの淡い懸念を懷きはじめた。抑々市の上水道は質の清純を以て天下屈指の定評がある處へ、量亦極めて豐潤、常時一日十二萬立方尺の消費には勿論盛夏中往々十六、七萬立方尺を使用する場合と尤も成るべく節約方を警告する程度で、今後何時迄も降雨無い場合は論外とし、少し位照りが續いたとて我が平市の上水道は貧乏揺ぎもしない！と主任の異野技師は確信强く語り合つて居る

第二生から慰問袋

平第二校六ノ二生徒一同で慰問袋二個を市役所へ寄託した

けふ區長會

市內行政區長會議は今十三日市會議事堂に開き既報縣下市町村長會議に於ける知事の指

試驗場の田植

神谷村農試分場の田植は來る十八日行ふ

拈華微笑

お陰で唐辛子を舐めた樣な商人の顏を見ずに濟む有難い砂糖の切符制

□

麹だからいぬ樣に木炭も斯うなると母あちやん萬々歲だ

□

吝々するな、有る品は賣ること。呉れろぢやないぞ

□

片積の船は沈んだ。般鑑遠からず。斷じて健全でない物資の偏在

□

切符制の實施で水無月なかの三日、井戸端會議に各マダムの顏は明るい

平市慶弔錄

▲死亡 大室字白土二八平澤アサさん(六五)

縣立工業學校敷地 愈よ對策樹立か
けふ委員會で協議

縣立工業學校敷地の埋立てが工費の關係で當局と請負人との間に可なりの開きがあり差當り停頓の形、聞かれて在る旨既報の通りであるが右は原則として本年度中に於てせめて校舍建築の區域丈けでも埋立てを完了せねばならぬので、萬難を排して近く何とか對策が樹究決定せねばならぬ事となり今十三日午後二時から工業及び商業兩委員會にかけ協議した

該敷地は第五小學校とする當初の豫定六千餘坪中既に一部の埋立てを了して居るが其の區域は生憎工業校舍の建設地點でなく而當と請負ひとに拘らず、建物の敷地を最先に埋立てするものと觀られるが豫定に變更を加へた工業の所要敷地として一躍一萬坪見當に擴大されし居るので、之の遂行に關する當局の苦心は一方ならぬ樣漫ろに察するに餘りある

町村收入役會

郡下町村收入役會では十三日午前九時半から平市団体事務所に研究會を開き改正財務規程による事務取扱ひに關し縣紫田屬の指示を受けた

東北鑛山の實相
仙台中央放送局の 礦業報國 座談會要領(一)

出席者 仙台鑛山監督局勞務課長 釜石鑛山勞務主任山口賢治、同勞務者澤村鐵次郎 入山炭礦係員助手横山三義、好間炭礦勞務主任伊佐忠藏、小坂鑛山勞働係長梅田誠二、同交誠會長小山盛太郎、尾去澤鑛山勞務主任吉田雷明、同勞務者寺岡伊三郎、高玉鑛山勞務主任熊谷忠三郎、同勞務者阿部新二郎

○司會 では、只今から仙台鑛山監督局主催の東北鑛山報國座談會を開催致します。現下我が皇國に於きましては東亞新秩序建設の力强き一歩々々を進めつゝあるのでありますが國內産業の足並も前線と相呼應致しまして擧げて國力の充實に努力しつゝある次第であります。殊に吾々鑛業人に於きましては一意專心礦業を以て國に報ずるの大精神を體して或は鑛物資源の開發に或は生産增加に對し滅私の勤勞を捧げて居るのであります。

本日は此所に鑛業第一線に於て活躍せられて居る皆樣方より時局下に於ける心構へなり或は體驗なりについて色々お話を伺ひたいと考へて居る次第であります

先づ順序と致しまして鑛山と云ふものゝ實情が未だ一般に世間では充分理解されて居らず又は非常に誤つて傳へられて居る點も多々あるではないかと考へられるのでありますがこの點につきまして好間炭礦の伊佐さん如何でせうか

○好間炭礦勞務主任伊佐君 鑛山も昔は俗に渡り鑛夫や、飯場制度と云つた風に世間から別社會の樣に觀られて居りましたがこゝ十數年以來殊に最近は著しく各種の文化的福利施設が整ふと同時に從業員の教養の程度も昔日の樣な無學の者はなく全體としては寧ろ農村とか一般勞働者の階級より一段と進歩して居る狀況であります。

○司會 今日の鑛山生活の一班としまして衣食住と云つたやうな方面は如何でせうか尾去澤の寺岡さん

○尾去澤鑛山勞務者寺岡君 私の方の社宅は大部分三四年前に新築されましたので間取りもよく便利で第一非常に明るく朗かな感じです。周圍に樹本も澤山ありまして環境は全く申分御座いません。會社では別に家賃と云ふのはとりませんから入營としましては疊の損料だけです。

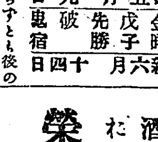
出獄後盜む

平署では十二日夜耶麻郡奥川村生[illegible]を檢擧したが同人は四月十七日部岡刑務所を出獄後地方に流れ込み各所から自轉車リヤカー、白米、籾など二百四十圓分を盜んだ男と判つた

濱通荒し渡邊送局

科學搜査の凱歌により平署に擧げられた双葉郡熊町生れ前科五犯渡邊次男(三六)は引續き留置取調べを受けてゐたが去月二十二日市內五丁目雜貨商袋屋こと片寄弘文方レヂスターから現金九十五圓を窃取(既報)小名濱町本町渡邊武方から百十九圓五十錢、四倉町松の下菓子商鹽庄吉方から五圓五十錢を盜んだ外濱通りを股にかけ都合十數件四百八十圓分を荒したこと自供、十五日身柄を送局される

十四日 【ケ名濱測候所觀測】 滿潮 前一〇、四〇 後一一、二五 干潮 前四、一五 後四、三〇



新六月十四日 金曜 舊五月九日 戊子 先勝 破 鬼宿

▲一白 爲すこと捗らずとも後の幸と思ひ勵むべし▲二黑 勞多によりて運氣內にも凶にも走り行く日▲三碧 活氣は充實あれども横道にも入り安し注意▲四綠 獨斷は誤り易し目上に問ひてすれば凡て無事▲五黃 自ら身を省み本分を守れば吉き日と成べし▲六白 居ながらに幸福の舞ひ來る日氣緩みするな▲七赤 多少意に滿たざる事ありとも氣にせず勵め▲八白 氣短かにあせれば成るべき事も破るゝに至る▲九紫 虛榮の爲めに從勞し衆務に怠りを生じ易し

天氣豫報 小名濱測候所觀測
今晚 南東の風晴曇
明日 同

廣告

酒トマヅイ たでんの 榮ちやん 平市田町花ノ里 電話三三三番

產婦人科專門 (入院隨時) 平市南町 根本醫院 電話三四番

江戶前 壽し と 小料理 出前迅速 (立食) 平驛前通り すし茂 電(呼)五七〇番

りん病 こしけ 專門藥 岩里別府淋藥 一週間分參圓(黑) 五圓(赤) 痛みある病。熱ある病 岩里別府散 七包入五十錢 十五包入壹圓 製藥本舖 別府市岩里天然堂 代理店 平市古鍛冶町一〇 阿康藥局 電話四十四番 振替東京三〇〇六五番

耳鼻咽喉科專門 レントゲン科 醫學博士 高柳博明 高柳醫院 平驛前 電三三六

男女車掌募集 數名 年齡16……19 未經驗者ニテモ可 給料其他委細面談 平市驛前 株式會社 野崎交通自動車 電三四〇・三四三

暑熱の御めしものには 石川亭の すき燒を 夏季中特に香水風呂の設備あり 平市田町 石川亭 電話四三番